

三豊市文書館だより

七 宝

Vol.14

発行 三豊市文書館
平成 27 年 4 月 1 日

特集：公文書管理条例と文書館



初代 浦島太郎（大西友吉）

目 次

特集：公文書管理条例と文書館・・・2

普及事業

春期企画展・・・・・・・・・・・・・2

地域連携事業

「陸軍特別大演習と二ノ宮の記録」

講演会・資料展 報告・3

文書の移管・整理・公開・・・・・・3

My Select ー資料整理の現場からー・4

表紙の写真・・・・・・・・・・・・・・4

文書館日誌・・・・・・・・・・・・・・4

特集：公文書管理条例と文書館

◎ 平成27年4月1日 三豊市の公文書等の管理に関する条例 施行

平成27(2015)年4月1日に「三豊市の公文書等の管理に関する条例」が施行されました。この条例は市民共有の知的財産である公文書等の管理に関する基本的な事項と歴史公文書の保存・利用について定めた条例です。歴史公文書とは文書館が保存する文書のことです。条例の施行により文書館もより利用しやすくなります。

◎ どう変わる？ 文書館

1. 土曜・日曜が開館！ 休館日が月曜・祝日に。

・休館日が月曜と祝日になり、土曜・日曜はいつも開館。文書館がより利用しやすくなります。

2. 文書館のファイル目録を公開。文書の検索がより容易に！

・文書館所蔵文書のファイル目録が公開されていきます。ファイル目録を参考に、より多くの歴史公文書を閲覧できるようになります。

3. 第三者機関として、公文書等管理委員会が設置されます。

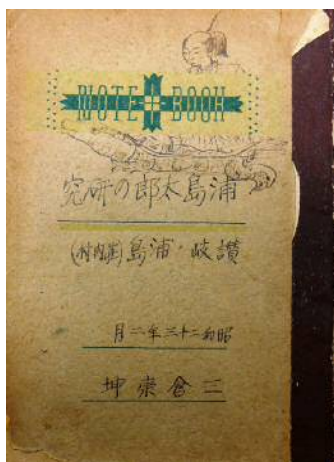
・公文書等を適切に管理し、文書館の円滑で積極的な運営を図るため、第三者機関として公文書等管理委員会が設置されます。

普及事業

◎ 春期企画展 「三豊思い出写真帳 vol.4 ～ 旅する三豊 ～」

4月1日(水)から5月31日(日)まで開催しています。

讃岐十二景の1つに選ばれた仁尾の平石や四国八十八ヶ所霊場の札所寺院などの古くからの観光地、また新しい観光資源として注目された昭和20年代の浦島伝承や近年の漂流郵便局など、三豊市域の観光の今昔を古写真や公文書などで紹介しています。



展示資料紹介

三倉重太郎 直筆ノート 昭和23(1948)年 個人蔵

三倉重太郎が浦島伝承をまとめる際に利用した直筆のノート。三倉重太郎のさまざまな著作のもとになったことがうかがえる。庄内半島の浦島伝説について、新田善造や初代浦島太郎である大西友吉の説をまとめるなどしている。表紙には、亀に乗った浦島太郎が描かれている。

・太陽熱発電開始記念乗車券 昭和56(1981)年頃

仁尾の広大な塩田跡地の利用方法として、太陽熱試験発電所の建設が決定し、昭和56(1981)年には仁尾太陽博が開催された。その最中の同年9月1日に、タワー集光方式の試験運転が開始され、同年10月1日には曲面集光方式の試験運転が開始された。それを記念して、国鉄四国総局が記念乗車券を発行している。



地域連携事業

◎ 「陸軍特別大演習と二ノ宮の記録」講演会・資料展 報告

平成26(2014)年12月5日(金)から10日(水)まで、高瀬町公民館二ノ宮分館で大正11(1922)年の陸軍特別大演習に関する資料展が開催され、たいへん好評を博しました。また展示期間中の12月7日(日)には「陸軍特別大演習と二ノ宮の記録」と題した講演会が開催され、文書館が講師を派遣しました。

当日は約30人の参加があり、二ノ宮村付近に置かれた東軍(善通寺第十一師団)本部の写真を見て、「これはどのあたりで撮られたものなのか」などの話題で盛り上がりました。



文書の移管・整理・公開

◎ 平成26年度の文書の移管・整理・公開状況

○三豊市文書ファイル

平成26(2014)年4月から12月まで本庁・教育委員会・出先機関等をまわり、作業をおこないました。

○旧町有期限文書

平成26(2014)年12月から平成27(2015)年3月まで各支所をまわり、作業をおこないました。現在、整理作業をおこなっています。

○その他の資料

統廃合される施設・指定管理者制度に移行する施設の文書の評価選別作業をおこない、文書館に移管しました。

○寄贈・寄託

4件の書籍寄贈と1件の資料寄贈をいただきました。

○その他

香川県立文書館に寄託していた粟島村役場文書が県文書館の事情により調査カード作成後に返却されましたので、文書館でその入力作業をおこないました。

平成26年度 三豊市文書ファイル 移管状況

分類	点数
平成20年度作成5年保存文書	1140点
平成22年度作成3年保存文書	518点
平成24年度作成1年保存文書	189点
その他の文書	整理中

旧町有期限文書 移管状況

分類	評価選別	点数
旧高瀬町保存期限満了文書	終了	整理中
旧山本町保存期限満了文書	終了	未整理
旧三野町保存期限満了文書	終了	49点
旧豊中町保存期限満了文書	終了	未整理
旧詫間町保存期限満了文書	終了	153点
旧仁尾町保存期限満了文書	終了	未整理
旧財田町保存期限満了文書	終了	整理中
その他の文書		未整理

その他の資料の移管状況

資料名	点数
箱浦小学校移管資料	258点
たくまシーマックス移管文書	103点
詫間町総務課広報移管資料	158点

寄贈・寄託状況

寄贈資料名	点数
書籍4件	8冊
大西家(大海堂書店)旧蔵資料	1054点

その他(目録入力)

資料名	点数
粟島村役場文書	8248点



讃岐三泊運動

昭和 29 年(1954) 2 月に高松市内に設立された会社が、香川県への観光客の数や滞在時間を増やすための運動を提案し、支援と協力を呼びかけました。

特産品の「讃岐三白」にちなんで「讃岐三泊運動」と名付けられたこの運動では、香川県内の観光地を 3 つのルートに分けて紹介しており、地図を見てみるとその名の通り県内の観光地を 3 泊かけて回るように設定されています。

- 1 日目：高松を出発して東へ。引田で折り返して高松に戻り、宿泊。
- 2 日目：高松から西へ。多度津、仁尾、観音寺、善通寺を経て琴平で宿泊。
- 3 日目：琴平を出て、高松から船で小豆島(土庄)へ。到着後は池田、内海の順に回り、土庄に戻って宿泊。

地図には、栗林公園や金刀比羅宮をはじめとした観光地がイラスト付きで紹介されています。「荘内」の文字と、そのそばに紫雲出山と思しき山の絵もありました。

この運動に関しては、いつ提案されたのか、実際に支持を得られたのか、また効果はどれほどのものだったのか等、詳しいことはほとんど分かりません。

しかし、現在このように観光ルートを設定するとしたらどうなるのかを考えてみるのも、面白いのではないかと思います。

(元臨時職員 篠原 苑美)

イラスト：臨時職員 白井 孝子



観光香川の三泊行程旅行

表紙の写真 — 春期企画展関連資料 —

初代 浦島太郎 (大西友吉)

三倉重太郎と同じく、荘内半島の箱で暮らす大西友吉が務める。三倉重太郎が浦島伝承をまとめるのと同じ頃に、浦島太郎三十数代目と称するようになった。昭和 20 年代後半には髭をのぼし、まげを結び、浦島太郎の装束を身に着け、観光政策の一役を担うようになった。

文書館日誌 (1月5日～3月31日)

- 2. 24 西予市(愛媛県)、視察来館
- 3. 4 春期企画展のため
瀬戸内海歴史民俗資料館へ資料調査
- 3. 5 記録管理学会、視察来館
- 3. 9 春期企画展のための資料調査
- 3. 17・18 三豊市公文書等の管理に関する
条例の制定に向けた職員研修会
- 3. 19 旧町有期限文書の廃棄

三豊市文書館だより「七宝」vol.14
発行 平成 27 年 4 月 1 日

編集発行 三豊市文書館

〒768-0103

香川県三豊市山本町財田西 375 番地

TEL 0875-63-1010

FAX 0875-63-1006

